



とよしん

海外貿易投資ニュース



第97号
発行日: 2019.6.17

タイのトレンドを追い風に日本食市場が拡大(ラオス) ラオスの日本食市場を探る

ラオスは、ここ数年7%前後の経済成長を続け、特に首都ビエンチャンにおける1人当たりGDPはビエンチャン都議会の報告によると、2017年に5,028ドル、2018年には5,300ドルと5.4%成長となった。ビエンチャンの日本食レストランは年々増加傾向にあり、現在は約30店舗となっているが、ラオスの日本食レストランにはどのような特徴があり、どのような客層が利用し、どんなメニューが提供されているのか。ラオスの日本食市場を紹介する。

< 低価格帯の総合和食が主流 >

ラオスにある日本食レストランは、ほとんどが総合和食と呼ばれる、総花的な種類豊富なメニューが特徴である。すし、ラーメン、鉄板焼きなどを店名にした専門店も一部あるが、これらのレストランでもサイドメニューがあり、どちらかと言えば総合和食に近い。ラオスのレストランの特徴として、近隣諸国に比べてメニューの単価が低いことが挙げられる。これは日本食レストランにも当てはまり、一般的な日本食レストランの定食の相場は約4万キープ(約520円、1キープ=約0.013円)である。ラーメンについては3万~4万キープ(約390~520円)が相場となる。



Koharu亭の豚カツ定食(4万キープ)

< 浸透する日本食、人気はすし、サーモン、ラーメン >

ビエンチャンで、2018年8~9月にタイ系すしレストランチェーンが立て続けに2店舗開業し、いずれもラオス人客が大半を占めている。ジェトロが実施した「2018年度タイ国日本食レストラン店舗数調査」によると、タイの日本食レストラン店舗数は3,000店舗を超えるなど、バンコクのみならずタイ国内の地方にも拡大している。ラオス語とタイ語に親和性があること、ラオスでもタイのテレビ番組が視聴できること、SNSなどを通じてタイのトレンドを収集できることなどから、タイでの日本食の流行がラオスにも影響しているとみられる。加えて、ラオスに進出するタイ系レストランは、タイ本国での食材調達力を生かした多彩なメニュー、食べ放題メニューを通じたお得感の提供、盛り付け方の工夫をPRするためのインプレッシブなSNS広告などを展開し、タイ系レストランの集客につなげている。一方、日本人経営のレストランにおけるラオス人客の割合は、約3割と徐々に増加している。日本食レストラン関係者からは「中間所得層が増加しており、ラオス人の割合が5年前は1~2割であったが、最近では3割まで増えてきた」との声が聞かれる。ラオス国内の日本食レストランの顧客の傾向として、富裕層がターゲットの店ではラオス人以外に日本人や欧米人が多く、中間層をターゲットにしたレストランではさらに韓国人、中国人まで客層が広がる。日本食の中でラオス人に好評なのはすしで、人気のネタはサーモンだ。タイ人経営のすしレストラン「Naoki Japanese Restaurant」ではトピコやサーモンを用いた鮮やかな色のロールすしが人気だ。総合和食形態の日本食レストランでも同様である。イタリアンマトでも、サーモン刺し身、サーモンのはらす焼き、サーモン握りの3種類を提供している。「日本のレストランで日本人シェフがいるのであれば、日本食を食べたい」という客からの要望を受け、本来の洋食を中心としつつ、海鮮系の日本食メニューを開発し、海鮮系では特に人気のサーモンのメニューをそろえた。



イタリアンマトのサーモンメニュー

すし以外で、ラオス人に人気のメニューはラーメンである。ただし、ラオス人の嗜好(しこう)に合わせて味付けされたものが人気で、例えば日本食レストランのKoharu亭では、トムヤム味のラーメンが人気である。また、東京ラーメン西園屋では、こってりとした味の豚骨ラーメンや魚介ラーメンが人気であるが、ラオス人は辛い味を好むため、店のオリジナルの味にラー油を足して食べるという。また、東京ラーメン西園屋は2018年7月から、ラーメンメニューを大幅に絞り込み、料金を抑えた屋台店舗の展開も始めた。ラオスの在留邦人数は、2017年10月時点で863人と決して多くない。また、日系企業の進出も緩やかに伸びている状況で、日本人駐在員が急増しているわけでもない。そのため、日本食レストランでは、ラオス人を意識した甘辛く、濃い味付けのメニューを提供しているレストランが多い傾向にある。

< ラオス人には外国ブランドの酒が好評 >

ラオス人に人気のアルコールメニューは、日本ブランドのビールや焼酎、日本酒などである。日本食レストランではビール、日本酒、焼酎、ワインなどさまざまなアルコールメニューが置かれている。ラオスではピア・ラオ(ラオ・ブリュワリー社が製造するラオス産のビール)が国内最大のシェアを占めており、安価な価格で流通している。日本ブランドのアルコールメニューはピア・ラオの2~3倍の価格で提供されているが、ラオス人にとっては一種のステータスになるとみられ、日本食レストランでは、日本ブランドの酒と一緒に自撮りをしてSNSに投稿する客も見られる。他方、海外在住経験のあるラオス人を中心に、ウイスキーを好む傾向もあるようだ。日本人パーテナーがあり、富裕層や常連客が集う本格的なバー、ドレスデン・ラオでは、丸氷入りウイスキーを注文する客が多いという。また同店では、カクテルを100種類以上提供しており、ラオス人の中でカクテルも人気である。



ドレスデン・ラオのカクテル、ウイスキー

(出所:ジェトロ 地域分析レポート2019年5月17日「タイのトレンドを追い風に日本食市場が拡大(ラオス) ラオスの日本食市場を探る(1)」)

マタニティーやベビー市場のニーズが多様化(中国)

浙江省杭州市で4月15日に開催された「2019年天猫(Tmall)ゴールドデンベビー賞祭典・天猫(Tmall)親子フェスタ」に合わせ、第一財經商業データ中心(CBNDData)が「Tmallマタニティー・ベビー消費市場調査報告」(以下、報告)を発表した。

報告では、オンライン市場における(1)マタニティー製品、(2)ベビーフード、(3)紙おむつ、(4)ベビー用品、(5)子供向けアパレルや靴、(6)玩具、などのマタニティーやベビー市場の消費動向を分析し、自己ケアグッズ(注1)の増加、需要の細分化、利用シーンの多様化、おしゃれられていること、幼児教育への関心の高まりという5つの特徴があることを指摘している。

(1)のマタニティー製品に関しては、1990年代以降に生まれた多くの新米パパ・ママたちは自己のケアや合理的な授乳を重視しており、マタニティーインナー・授乳服などの必須品以外にも、フェイスケアやボディケアなど産後のママ向け製品が急成長している。

(2)ベビーフードについては、消費水準が高まりつつある背景の下、栄養面だけでなく、味付けやアレルギー対策なども重視されている。高品質の粉ミルクのオンライン市場規模は拡大し続けており、特に液体ミルク、羊の粉ミルク、オーガニックミルクのような商品の販売が好調だ。また、果実をすりつぶしたオーガニック離乳食の発展も期待されている。

(3)紙おむつに関しては、オンライン販売の伸びが著しく、輸入品のシェアが拡大している。軽くて通気性が良いことに加え、夏用、夜用、スイミング用など、機能を細分化した紙おむつの販売が大幅に伸びている。また、個性的なキャラクターとコラボした商品も人気を集めているという。

(4)ベビー用品では、スキンケア・ボディケア商品の伸び率が顕著だ。これらの商品に関しては、原材料にこだわったオーガニック製品が人気を集めている。その他、アウトドア向け商品の中では、虫よけや日焼け止めが伸びている。ベビーカーでは、シートを倒せるベッド状のものや、軽さを重視したバギー、電車・バス・車の移動に便利な折り畳み式のものなど機能的な商品が伸びている。

(5)子供向けアパレルや靴をみると、アパレルに関しては、パーカーや帽子などのカジュアル用品が継続的に成長しているほか、個性的かつ中価格帯のブランドが人気であり、おしゃれで個性的な商品の潜在力が高いとみられている。靴については、多くの成人向けブランドが市場に参入し始めており、親子そろいでのコーディネートがブームを巻き起こしている。

(6)玩具では、知育的で流行性のあるものを追求する傾向にあり、「STEAM」(注2)と呼ばれる教育機能を持つ商品が伸びている。



高級スーパーのベビー用品コーナーの一角



中国で販売されている人気のキッズスニーカー




幼児向けの知育玩具

(注1)ここでは、産後ママ向けフェイスケア、ボディケアグッズを指す。

(注2)STEAMとは、「Science」(科学)、「Technology」(技術)、「Engineering」(工学)、「Art」(芸術)、「Mathematics」(数学)の頭文字を取ったもの。

(出所:ジェトロ ビジネス短信2019年5月15日「マタニティーやベビー市場のニーズが多様化(中国)」)

外貨両替は、とよしんへ！当金庫では17通貨を取扱っています。

次のセミナー等をご案内させていただきました。			 <p>豊田信用金庫 国際業務部</p> <p>〒471-8601 愛知県豊田市元城町1-48</p> <p>電話 0565-36-1381 FAX 0565-36-1213</p>
海外販路開拓セミナーのご案内	東京	信金中央金庫	
新在留資格「特定技能」人材活用セミナーのご案内	東京	信金中央金庫	
中小企業と世界をつなぐビジネスマッチングサイト J-GoodTechのご案内		ジェトロ	
JAPAN MALL事業 海外複数ヶ国・地域におけるEC販売プロジェクトのご案内		(独)中小企業基盤整備機構	
「アクアプラザ」を利用したテストマーケティングサービスのご案内	香港	信金中央金庫	